

# ～新規取り扱い生命保険会社のご紹介～

現在取り扱っている・大同生命・NN生命・SOMPOひまわり生命・三井住友海上あいおい生命  
上記に加え新しくジブラルタ生命の商品を取り扱い致しました。

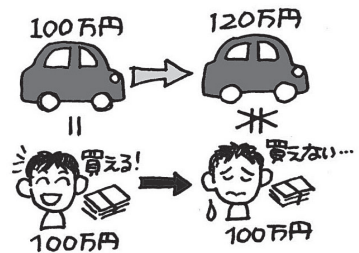
ジブラルタ生命の取り扱いで円建てと今まで無かった外貨建ての商品の取り扱いが可能となり  
様々な備え方をご提供できるようになりました。

## 物価上昇に備える資産形成とは？

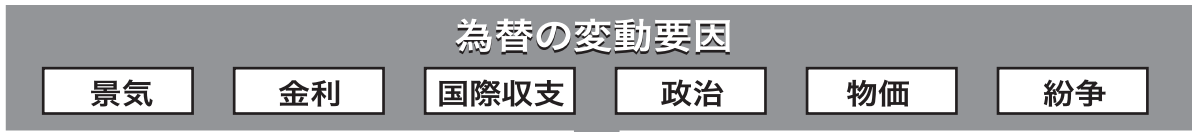
輸入依存度が高い日本では、為替相場が円安に動くことは、物価が上昇する一要因となります。  
そして、賃金が上がらず物価だけが上昇すると、私たちの家計は厳しくなるだけでなく、持っているお金の価値  
(円資産の価値)が目減りすることにもつながります。  
円安による円資産の価値の目減りを回避する一つの手段として、「外貨建資産を保有すること」が有効です。  
外貨建て資産は、円安になると円換算評価額が大きくなるためです。

### 物価が上昇すると、お金の価値が目減りする？

円安により自動車の価格が100万円から120万円に上がった例でご説明します。  
もともと100万円しか持っておらず、賃金も預貯金も増えなかった場合、  
円安により自動車の価格が100万円120万円に上がると、100万円で自動車を  
購入できなくなります。  
つまり、もともとの100万円の「お金の価値が下がってしまった」と言えます。



### 為替の変動要因と生活への影響



※上記の為替変動要因は一般的なものを示しており、上記以外にも様々な理由で為替は変動します。



安くなる	輸入品	高くなる
安く行ける	海外旅行	費用がかさむ
マイナス	輸出企業の業績	プラス
プラス	輸入企業の業績	マイナス
減少	外貨建資産の評価	増加



円安による物価上昇に備えるには、円だけでなく外貨建資産  
を保有することも有効な手段の一つです。  
これからのライフプランや現在の資産状況を確認し直し、  
外貨建資産の保有を検討してみませんか？

外貨に関する動画集を  
ご用意しています。



この資料は、具体的な金融商品を説明する資料ではありません。実際の金融商品をご検討の際は、各商品のパンフレットで必ず為替リスク  
やご契約にかかる費用等についてご確認ください。